

Info File 01 ●問い合わせ
杵築市役所子育て・健康推進課
TEL0978-64-2540

「地域巡回健診」 追加日程のお知らせ

6月～8月にかけて行われた「地域巡回健診」の追加健診を次の日程で行います。今年度、健診の機会を逃した人や、年度当初健診の申し込みをしていない人は、この機会をぜひ利用してください。

実施日	受付時間	会場
11月22日(木)	8時30分～10時	山香庁舎
12月 2日(日)	8時30分～10時	健康推進館

- 健診当日、会場で受付をします。
- 【当日持ってくる物】
健康保険証、特定健診受診券(特定健診を受ける場合)または後期高齢者受診券、検診料金、健康ファイル、健康手帳をお持ちください。自宅に今年度の健診受診票(問診票)がある人はお持ちください。

【健診項目】
特定健診・基本健診、後期高齢者健診、結核・肺がん検診(胸部レントゲン撮影)、大腸がん検診(検査容器配布)、胃がん・子宮がん(頸部細胞診)
※乳がん検診は行いません。左記「女性のがん検診」のお知らせをご確認ください。
【健診前の注意】
●特定健診・基本健診・後期高齢者健診を希望する人は、健診当日の朝食は摂らないでください。(水やお茶は飲んで構いません)

【胃がん検診の注意】
●検診前日の21時以降は、食事や飲み物を摂らないでください。ただし、受診の2時間前までの内服は、水または白湯であれば構いません。タバコも吸わないでください。

【受診時の服装】
●胸部レントゲン撮影や胃がん検診を受けるときは、ボタンや金属のついたシャツ等は避けましょう。子宮がん検診はズボンより、スカートの方が受診しやすいです。

▼40～74歳までの、社会保険等の加入者(杵築市国保以外の人)が、地域巡回健診で特定健診を希望する場合は、あらかじめ勤務先にご確認ください。「特定健診受診券」が必要になります。

▼健診(がん検診)によって、対象年齢や料金が異なります。広報きつき4月号の折込みをご覧ください。詳細は子育て・健康推進課にお問い合わせください。

【問い合わせ】
●子育て・健康推進課(☎0978-64-2540)

Info File 02 ●問い合わせ
杵築市役所子育て・健康推進課
TEL0978-64-2540

女性のがん検診を 受けましょう

がん検診
ふたつ
のお知らせ

自覚症状のない“今”だからこそ、定期的のがん検診を受けましょう。

実施日	受付時間	会場
12月 9日(日)	9時～10時40分	健康推進館
12月14日(金)	9時～10時40分	健康推進館
12月17日(月)	9時～10時40分	山香庁舎

【当日持ってくる物】
●健康保険証、検診料金、健康ファイルまたは健康手帳

【乳がん検診】
●今回の乳がん検診は、超音波検査による検診で、事前申し込みが必要です。受付は11月1日からで、定員になり次第締め切ります。

対象者・・・30～39歳、40歳以上の奇数年齢の人
検診料金・・・500円(市国保加入者は無料)
(対象年齢以外の方が希望される場合)
●40歳以上の偶数年齢の人=1,200円
●29歳以下の人=2,500円

【子宮がん検診】
●事前の申し込みは必要ありません。
対象者・・・20歳以上
検診料金・・・800円(市国保加入者は無料)
※年齢は、いずれも平成25年3月31日時点です。

【検診の問い合わせ・乳がん検診の申込み】
子育て・健康推進課(☎0978-64-2540)

ご活用ください! がん検診の無料クーポン券

杵築市に住民票がある(平成24年4月20日現在)女性で、該当する年齢の人に、「がん検診の無料クーポン券」を送付しています。このクーポン券を利用すると、指定の医療機関で無料でがん検診を受けることができます。子宮がん検診は、上記の検診でも利用できます。

【送付対象者】(平成24年4月1日時点の年齢)
子宮がん・・・20歳/25歳/30歳/35歳/40歳
乳がん・・・40歳/45歳/50歳/55歳/60歳
◆がんは、初期症状がほとんどありません。まだ利用していない人は、クーポン券を有効に使用して、健康管理に役立ててください。
※無料クーポン券の有効期限は平成25年2月28日です。
◆詳しくは広報きつき6月号をご覧ください。
◆無料託児もご用意しています。お子さんの人数の確認等のため、申込みの際に、あわせてお申し出ください。

地域で 予防 感染症

杵築市が、元気な子どもを育つまちになるために、感染症の蔓延をどのように予防すべきか、シリーズで学びます。
2回目は、8月号の特集でも登場いただいた伊藤小児科医院院長の伊藤佑士先生に、毎年猛威をふるうインフルエンザについて、お話を伺います。

インフルエンザは、普通の「かぜ」とは違うのですか？

のどの痛み、鼻水、咳といった普通の「かぜ」の症状に加えて、高熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が突然現れる特徴です。高齢者では、食欲不振が成人に比べて強くなります。

かかる人は5～9歳で多く、死亡率は4歳以下で小さなピークがあるものの、60歳以上で急上昇し、85歳以上でピークを迎えるので、この年代の

インフル エンザ

人は特に注意が必要といえます(図1参照)

インフルエンザはいつ流行するのでしょうか？

日本では、毎年11月～4月に流行すると言われています。杵築で開院して30年になりますが、杵築市では1月中旬～3月中旬にかけて流行することが多いようです。12月初旬にも流行し、1月に収束したこともあるので、油断は禁物です。ちょうど受験の時期で、高校入試のとき、保健室でテストを受けた中学生もいらっしゃいます。

感染症というワードですが、どこからやってくるのでしょうか？

人が多い場所で流行が始まることが多いので、飛行機、電

車で大都市などから持ち帰る場合が一般的だと考えられます。最近では、小中学校の対外試合などで、人の行き来が盛んですから、どこからやってくるもおおしくありません。

インフルエンザはどのようにして感染するのでしょうか？

感染している人から、空気感染します。1回のくしゃみで、ウイルスが数万個です。その範囲は3m以内といわれます。感染している人はもちろん、そうでない人もマスクをすることが大切です。手からの接触感染も多いので、手洗い、また、うがいも予防に効果的です。

予防接種は効果があるのでしょうか？

予防接種により、重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にすることが期待されています。

効果は、年齢や本人の体調、そのシーズンの流行の「型」にもよりますが、成人で70～90%は効果があると思われ、市内の老人介護施設で、全員がインフルエンザの予防接

種をしたところは、100%予防しました。その施設では、流行中の同居者の接見制限、入室の際の手洗いも厳しく指導していました。
当院で今年、1月から発熱で来院した子どもから成人830人に、インフルエンザ診断キットを使って検査したところ、409人がインフルエンザの陽性が出ました。さらに詳しく調査すると、この4

09人中、予防接種をして陽性になったのは、14人でした。残りの400人近くは、予防接種をしていませんでした。予防接種をしたからといって、「かぜ」をひかないわけではないですし、一般的な「かぜ」の予防法である、うがい、手洗い、適度な湿度を保つ、人ごみを避ける、十分な休養と栄養をとるなどは、インフルエンザの予防としても効果的です。

(図1:インフルエンザの年齢別罹患率及び死亡率
厚生省伝染病統計及び厚生省人口動態統計1996)

